

地域未利用資源を有効活用した冷水性高級魚介類を育成する バイオマス飼料の開発

代表機関：学校法人北里研究所 北里大学
実施年度：2023年度～2024年度（フェーズ2）
キーワード：地域未利用資源、高級魚介飼料、冷水性高級魚介類

研究代表者：森山 俊介



高成長・高品質な冷水性高級魚介類の生産力を強化することを目的として、おもに東北地方において生じる地域未利用資源を飼料原料の一次素材として量産するための集荷・一次加工技術を開発し、栄養価が高く機能性に富むバイオマス飼料（高級魚介飼料）を製造し、冷水性高級魚介類の養殖に供給することを事業としたベンチャー企業の実現を目指す。

背景・目的 冷水性高級魚介類の生産力を強化する新規飼料の開発が必要

近年、東北の地場産業を支えるサケ・マス、また、アワビやウニ等の冷水性高級魚介類の漁獲量は激減の一途を辿っている。このような状況下、これら魚介類の生産力を強化するためには、栄養価が高く機能性に富む安価な新規飼料を開発し、それを高度有効活用することにより効率良く魚介類を育成する養殖事業を展開する必要がある。本プロジェクトは、これまで殆ど活用されていない水産物、農作物や畜産物から生じる地域未利用資源の栄養価や機能性成分を評価し、それらが冷水性高級魚介類の生育や品質を向上させる研究成果に基づいて、未利用資源を飼料原料として利用するための集荷・一次加工システム、また、栄養価が高く機能性に富む未利用資源を配合した高級魚介飼料を冷水性高級魚介類の養殖に安定供給することを事業としたベンチャー企業の実現を目指すものである。

目標 未利用資源の一次加工と高級魚介飼料の製造システムの構築

現在、冷水性魚介類の生育や高品質化を促す新規飼料が求められている。そこで、栄養価が高く機能性に富む水産物、農作物と畜産物から生じる地域未利用資源を選定し、それらの集荷体制と一次加工素材を安定供給するための量産化システムを構築することを第一の目標とする。さらに、未利用資源を配合した高級魚介飼料を製造し、冷水性高級魚介類の生育や品質に及ぼす評価を行うことを第二の目標とする。

研究内容 未利用資源を配合した高級魚介飼料の量産化と有効活用技術

1. 冷水性高級魚介類の飼料原料となる地域未利用資源の一次加工技術

おもに東北地域で生産される水産物、農作物や畜産物から生じる地域未利用資源を配合した高級魚介飼料を製造するために、未利用資源の集荷体制と効率的な乾燥・粉末化する一次加工技術の開発を図る。

2. 高級魚介飼料の製造と冷水性高級魚介類への有効活用技術

一次加工した地域未利用資源を配合した高級魚介飼料を製造し、本飼料の冷水性高級魚介類の生育と品質に及ぼす効果・有効性を検証し、本飼料を魚介類の養殖に安定供給するシステムの構築を図る。

本研究を通して高級魚介飼料を安定供給するための地域未利用資源の集荷・一次加工品の量産化システム及び高級魚介飼料の製造と普及を業務とするベンチャー企業の実現を目指す。

地域未利用資源の一次加工・高級魚介飼料の製造と効果の検証



<代表機関概要> 学校法人北里研究所 北里大学

■HP：<https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/index.html>

■所在地：神奈川県相模原市南区北里1-15-1

■連絡先：海洋生命科学部 森山 俊介



2024年8月31日時点